

いしだ便り

第 16 号

2016年10月27日発行

発行 石田ふるさと振興会

編集 総務広報委員会



事業進捗状況

事務局長

新年度となり半年が過ぎました。上半期の主な事業は、石田ふるさと夏まつりで各委員会の役割を十分發揮し、今年も多くの参加者で盛大に行われました。また、石田の花植栽事業で石田地区が花でいっぱいになる日が近づいています。更に、本年目玉事業として昨年から取り組んできました、石田地区自主防災組織を立ち上げました。近年、自然災害が頻発しており規模も巨大化しています。一刻も早く防備し安全安心な地区となることを目的に八月に発足し、第一回目の防災訓練を実施いたしました。主に連絡訓練を主体に消防署員による心肺蘇生訓練、炊き出し訓練等を実施いたしました。また、婚活事業においては、紅彩館で男女共に数名の参加者により石田地区に定住できるカップルの誕生がこれから期待されます。これからの大きな事業は十一月十三日(日)の石田ふるさとまつりが開催されます。皆さんでいも煮を食べながら楽しいひと時を過ごされますようお待ち申し上げます。石田ふるさと振興会の事業により毎年活発で安心できる石田地区となりますよう皆さんと共に活動してまいりますのでこれからも御協力お願い申し上げます。

防犯について

日頃より伊達市防犯協会石戸支部

に対し御協力いただきありがとうございます。私どもは、市消防団第二

分団幹部、OB・交通安全協会石戸分会長、石田小学校PTA会長、行政推進員の皆さんで運営しています。一年一回の総会、年末の防犯パトロール伊達署の協力をいただいていたの研修会、そして、防犯灯の設置もしております。地区の皆様で防犯灯を設置してほしい場所があれば、消防団の幹部の方または、行政推進員の方に相談してみても、いかがでしょうか。年に一基又は2基の設置を予定しております。予算等もありますが希望に沿いたいと思えます。一世帯二〇〇円の協力会費をいただいで活動しております。当協会を今後ともよろしく願っています。



この人 紹介します



石戸駐在所勤務

青田 惇

日頃から地域の皆様方には、石戸駐在所の活動をはじめ各種警察活動にご協力頂きありがとうございます。警察

官は、地域の安全安心のために活動することは勿論ですが、これに加え、駐在所勤務員は、いかにその地域に惚れ込み、地元に着着するかが大切ではないかと考えています。

最近では、昨年以上に私に話しかけてきてくれる人も多くなり、地域の方とのふれあいができることをうれしく感じていると同時に「石戸駐在所に来てよかった」と感じています。

また、私だけではなく私の妻も「ふれあいサロン」等で地域の方とふれあいの場所にお誘いいただき参加しています。あとどれくらい、この大好きな石田地区で勤務できるかわかりませんが、私たち夫婦ともに地域の人とふれあいを大切にもっと好きになっていきたいと思っています。

石田の宝特集十二「婚活サポート」

今回婚活サポート事業を始めました。実施して、石田で頑張る若者を陰ながら応援しサポートしていきたいと思いのこの活動をもっと充実させて続けていきたい。

石田の宝が増えるように願っています。



夏まつり 28



魚つかみ



ソフト大会



景品渡し



魚焼き



売店



カラオケ大会



霊山太鼓東部太鼓保存会



やまもり会

総務広報委員会

毎月定例会で、石田ふるさと振興会役員会での協議事項の報告、そして各行事の打ち合わせ等を行っております。メインの役割はしただ便り、ホームページの内容を提供させて頂き、行政推進員の方々に各地区住民の方々への情報として活用して頂いています。

夏まつりでは魚つかみ&魚塩焼きの役割を分担し、委員の方々はもとより一般の方々にもご協力感謝申し上げます。子供達には魚つかみを体験してもらい、その場で塩焼きにしたものをその場で食べてもらいました。主催側準備のニジマス一五〇尾加え有志の方からアユを一二〇尾ほど提供して頂きました。仮設釜土に楠焼魚の行列は見事な眺めでしたが、捌き焼場は暑さも手伝い苦勞でしたが焼魚全て完配、大盛況でした。

健康福祉委員会

四年目となった「石田っこクラブ」は、毎月の活動内容で、子供たちがどうしたら楽しんでくれるのか頭を悩ますこともありましたが、各行事の日程と調整をしながら、出来るだけ季節感を持った内容にする様、心がけています。

八月には毎年恒例の一番人気『流しソーメンと親子夏まつり』を行いました。子ども・

保護者・スタッフ総勢三十五名の参加で、楽しみました。今年度後半も様々な企画を考えていますので、子ども達の参加と、地域の方々のボランティアも随時募集しています。よろしくお願いいたします。

地域活性化委員会

婚活サポートの実施にあたり初めての事で参加者募集と準備等で苦勞した面もありましたが九月十日当日には男女各6名の者で行うことができました。霊山の素晴らしい自然の中にぎやかなうちに終わりましたが、付き合えるカップルが誕生するかは、まだ、わかりません。報告があればうれしいです。

環境防災委員会

九月三日(土)に多くの地区民の参加のもと、ヒガンバナの植栽を行いました。今年度で四回を数え、大平・孫老内そして東部地区に約九〇〇球の球根を植えつけました。過去三年間に植栽した球根も大きくなり、見ごろを迎えた場所もあります。

また、石田地区に自主防災組織を設置するために地元消防署や各種組織等と協議してまいりましたが、ようやく設置することができました。九月十九日には、第一回の防災避難訓練を実施することができました。詳細につ

いては、次号でお知らせいたします。

ふる里の味レシピ作り

しその実漬け

秋のお彼岸に作る「おはぎ」テーブルに置いたそのそばには、しその実漬けがあります。しその実ときゅうりがメインですが、秋茗荷、生姜、切り昆布、人参、茄子、きのこなど刻んで合わせ塩でつけます。味付けや入れる材料はその家でいろいろ違います。家庭の味です。切り昆布は良い味を出すためとほろほろの実が絡み易くするため、人参は彩り、食べると本当に美味しい。しその実の香りが夏の終わりを感ぜさせられます。たくさん作り、余った分は味噌漬けにして頂きます。



米寿になつて

初秋の風がさわやかに吹いてコスモスの花が静かに揺れています。

今日は婦人会主催の敬老会に招待されて出席をしました。米寿のお祝いが盛大に催され来賓祝辞、米寿者への記念品贈呈と盛りだくさんの行事がありました。「光陰矢の如し」と言いますけれど月日の経つのは早いもので、無事に迎えた米寿（八十八歳）を改めて実感した一日でもありました。昭和の初めに生を受けた私たちにとって、物の不足の時代から余る時代と、生活が大きく変わりました。けれども、楽しいこともたくさんありました。そして、地域の皆様のお力添いで楽しく生活してまいりました。健康で無事に迎えた米寿に感謝しながら、これからも一日一日を大切に、年齢を重ねていきたいと願っております。



下屋敷 菅野キミ

中央一懇親会

八月二十七日（土）中央一行政区では、第三回目となる『納涼懇親会』を石戸地区交流館にて開催しました。二〇代から七〇代までの一六名が参加し、イワナの塩焼きをメインに焼き鳥、生ビールありの和やかなひと時を過ごしました。各地区でも新年会あるいは収穫祭などと称し、懇親会等を催している事と思いま



す。少子高齢化が進む中、隣近所で何かあれば、少ない人数で何とか乗り切れる付き合いが大切だと思えます。「遠い親戚より近くの他人」という言葉があります様に、心よく助け合える環境を作るためにも、このような行事は継続して行きたいものです。

中央一 遠藤重信

地域おこし支援員

みなさん、今日和。開けてビックリ！玉手箱のタマテです！突然ですが、僕の信条に「人は言葉で創られる」があります。本を読むことが大好きなのですが、著者の何十年もの知識と経験をインストールすることができます。最近、素敵な言葉をインストールしました。

その言葉は「希望活動人口」です。「希望活動人口」とは、定住人口が減少しても、まちの将来に明るい希望があることを公言し、その実現に向けて行動する人のことです。先日、やまもり会では「木材粉砕機」をレンタルし、竹を粉砕しました。「竹チップ」は多種多様な使用価値が望める資源となります。その行動を経て、やまもり会の仲間たちは、希望で、わくわくになりました。やまもり会の活動の輪が広がり、もっと もっと「希望活動人口」が増殖すれば、地域の未来の可能性を拡大させることができると実感した出来事を生み出せました。これからもひとつひとつ丁寧な仕事を心掛けて活動していきますので応援よろしくお願ひします！



お願い

パート職員の募集

霊山こどもの村では、パート職員（園内整備・遊具係）さんを募集いたします。ぜひ地元の方をお願ひいたします。詳しくは霊山こどもの村までお問合せください。

☎〇二四―五八九―二二二一

石田の子

私の住んでいる大城という所は山の奥です。見晴らしの良い場所からは、吾妻山や半田山が見えます。時々、雲海が見えることもあります。どこに行くのも遠いし、雪が積もると、なかなか除雪してもらえなくて大変、ですが自然がたくさんあり、野生の動物もいます。石田小学校は、児童十八人で、少ないけれど、みんな仲良く生活しています。そんな石田が、大城がとても大好きです。

小学五年 菅野姫奈



編集後記

石田の夏祭りも終わり、石田の花として植栽してきた彼岸花も年々数を増し、石田の里にも収穫の秋が訪れたことを感じさせます。毎年石田の皆様が丸となって植栽してきた成果が目に見えてきました。一人では出来ない事も皆でやれば成し遂げる事ができる証です。春は水仙の花が、秋は彼岸花が咲き乱れる石田の里を思い浮かべ、一人ひとりが出来る範囲で協力し、花に囲まれた石田の里づくりを成し遂げましょう。